

事務事業名	介護予防事業（高齢者筋力向上トレーニング事業）	整理番号	22301-000
所 管	長寿介護課高齢者福祉スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成 16年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	介護保険法、介護予防・地域支え合い事業実施要綱、御殿場市高齢者筋力向上トレーニング事業実施要綱
基本計画における位置付け	基本政策 政 策	2-2 福祉の充実 2-2-3 高齢者福祉の充実	関連 政策

事務事業の内容

目的 (何のために)	高齢者がこの事業を実施することにより、筋力向上並びに柔軟性及びバランス能力を養うことを目標に包括的なトレーニングを行い、運動機能を向上させることにより、介護予防及び自立支援を図ることを目的としている。
対象 (誰・何を)	要介護認定を受けていない概ね65歳以上の高齢者で、筋力の衰え等を感じており、事業実施により効果が期待できる人。
手段 (どのようなやり方で)	高齢者用に調整されたトレーニング機器を使用して、個々のプログラムを組み、段階的に筋力トレーニングを実施する。
成果 (どのような状態にしたいか)	筋力向上並びに柔軟性及びバランス能力を養い、自立支援・介護予防に努め、延いては介護保険事業費の削減が図れる
事務事業の背景・住民の意向	筋力の衰えた高齢者が、転倒等により骨折し、それが原因で寝たきりになる場合が多く、本事業のような介護予防のための事業が必要とされていた。
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度	利用人員 27人	
平成17年度	利用人員 39人	
平成18年度	利用人員 44人	

評価指標

<p>開催回数(回)</p>	<p>1回あたりの参加人数(人)</p>	<p>参加者一人あたりコスト(円)</p>
----------------	----------------------	-----------------------

事務事業の評価

観点別・一次評価（担当部署の評価）		コメント	
観点別評価	必要性	高齢者ができるかぎり要介護状態に陥ることなく、住み慣れた地域で健康で生き生きした生活を送れるように支援する介護予防事業への取り組みとして、有効な事業である。	今後の方向性
	有効性		
	効率性		
一次評価	B		拡大
二次評価（行政評価委員会の評価）		コメント	
二次評価	B	利用者の増加に向け、低廉で気軽にできるトレーニング方法等の普及・啓発を検討されたい。	今後の方向性
			継続

改革プラン

平成19年度からの対応	別メニューで同一事業を展開
平成20年度以降の対応	
改革により予想される成果	希望者が参加しやすい体制に整え、一人でも多くの高齢者が利用することにより、介護予防事業としての成果が見込まれる。